

令和4年度 島根県私立保育連盟青年部 講演研修会報告

令和5年1月7日（土）、出雲市のパルメイト出雲に於いて、島根県私立保育連盟青年部講演研修会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により、過去2カ年度においては中止せざるを得ず、この度は2年ぶりの開催となりました。

青年部研修会では以前よりお世話になっております島根大学大学院 教育学研究科 教授 原広治先生を講師にお迎えし、若手職員の育成を担当しておられる職員を対象に『若手職員の育成に対して願うこと思うこと』と題しご講演をいただきました。

まずは参加者同士の自己紹介からコミュニケーションを図り、各グループ内で緊張した空気を和らげることから始まりました。

若手職員に対して思うことをプラスの面・マイナスの面の両方から話し合い、「若手は何を考えているか読めない」、「若手は責任感・自信がない」、「プライドが高く謝らない」といった意見がでており、そのような若手職員たちにどのように関わっていけばよいか、という問い掛けに、「若手とのコミュニケーションにより良い雰囲気づくりを心掛ける」、「若手に役割を与えて自信をつけさせる」、「若手を認めてあげる」といった、参加者自らが答えを探り、導き出している様子がうかがえました。

参加者からは、「職場は違っても若手職員に対して皆同じような悩みを持っていて、共有することができてよかった」、「今どきの若い子と決めつけずに理解し認めてあげることが大切であると気づいた」、「自分の時代では考えられなかった褒めて伸ばす大切さを実感した」、「時代に合わせてベテランも変わらなければいけない」といった声がありました。

今回の講演研修会は、若手職員の育成を担う先生方にとって、若手職員とどのように関わっていけばよいか、そして自分たちも若手職員と共に育ちあうことを考える充実した研修会となりましたことを報告いたします。



